□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム　高松　※
日付	平成19年2月23日
評価機関名	有限会社　アウルメディカルサービス

■評価調査員 ： 薬剤師･介護支援専門員

介護経験歴6年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（ 改善状況のコメントがあります！） ※

外部評価の結果

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

（記述式）

全体的に職員の連携はよく取れています。特に声がよく出ているので、施設が明るい雰囲気であることを物語っています。毎月家族が参加出来る企画を意欲的に計画立案しています。月に1～2回は別メニューの食事（焼肉･バーベキュー･すき焼きなど）を盛り込んでいます。

外傷や症状の変化があればすぐに家族に連絡し、体調面で異常がある場合は、看護師から医師に連絡を取り適切な指示を受け、家族にも報告しています。

入浴を嫌がる入居者もいるようですが、お風呂に入らないことでのデメリットをしっかり説明し納得してもらい入浴を進めています。時には入居者から引っかかれたりして、傷が絶えない職員もいますが、入浴した後の入居者の笑顔を見ると、職員全員出来るだけ頑張ろうという気持ちが高まってくるそうです。

改善の余地があると思われる点（記述式）

･どの職員も前向きに動かれていますが、何でもパーフェクトを目指す傾向があるようです。入居者にはまだ残存能力もしっかりあるので、食べるのを手伝ったり、食後の食器を片付けたりすることが出来る入居者には最後まで見守ってあげる事も必要ではないでしょうか。
･食事の様子を見て回っている職員が見受けられ、チェックをしすぎているように感じました。見守ることは大変でしょうが、ゆとりをもって落ち着いた食事ができる家庭的な雰囲気のグループホームを期待しています。

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目：グループホームとしてめざしているものは何か

記述回答：（記述式で回答）

「やさしい介護。できる限り入居者の方の要求を実現する。できる限り相手が望まない押しつけの介護はしない。相手がしたい事を中心に援助する。家庭的なくつろぎの空間を作る。ゆとりのある生き甲斐。明るく楽しく元気に過ごす。」

管理者は職員と常に話し合いを行い、入居者にとって何が必要か考えています。

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目：入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か

記述回答：（記述式で回答）

帰宅願望が出るときには一緒に散歩に行くと納得するようです。入居者ができることをしてもらうことで落ち着くと考え、役割を与えています。新しく入居された方には職員が間に入って、以前から入居されている方になじむように努めています。

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者･家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り･情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		○
12	入居者のペースの尊重		○
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮		○
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法･盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援		○

Ⅲ ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見･対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

記述項目：一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か

記述回答：（記述式で回答）

居室やお風呂に入るときには必ず言葉かけをしてから入っています。トイレ誘導時には耳元で話しかけ、失禁時には他の入居者に分からないような配慮がなされています。

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	

記述項目：サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

記述回答：介護職では分からないことがあるので勉強会の時には看護師から話を聞き、介護に役立ちそうなことを吸収しています。またグループホーム外での勉強会や通所系の介護をしているところへも見学に行っています。人間関係の構築に関して緊張感を持って仕事をするようにしています。